

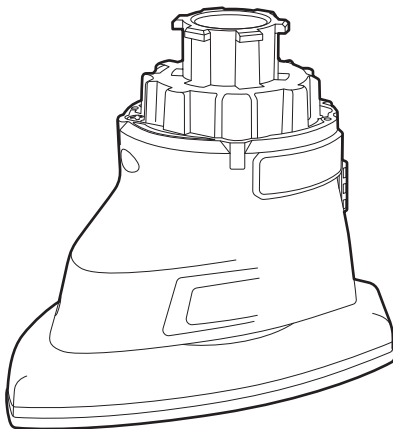
18V充電式マルチツール専用 サンダーユニット

型式:SL-18MCSD-A

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。



安全上のお知らせ

- バッテリーパックを使い切った後は、目安として30分以上本体を休ませてください。
- 取扱説明書に記載されている能力を超える作業には使用しないでください。
- 使用前にマルチツール本体と本ユニットが確実に接続されていることを確認してください。(P4参照)
- サンディングペーパーを加工面に必要以上に強く押し付けしないでください。

- 木材の表面仕上げに
- 金属のコーナーや狭い場所のサンディングに

お客様へ

マルチツール本体・バッテリーパック・充電器についてはそれぞれの取扱説明書に従い、正しく使用してください。

お使いになる前に

本製品を安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように「警告」・「注意」・「注」の3種に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。
- 「注意」に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。



警告

人が死亡
又は重傷を負う可能性が
想定される内容



注意

人が傷害を負う可能性
及び物的損害の発生が
想定される内容



本製品や付属品の
取扱いなどに関する
重要な注意事項



警告

1. 指定のサンディングペーパー以外は使用しないでください。(事故・故障の原因)
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
3. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。(本体・サンディングペーパーの寿命低下の原因)
4. あまりにも小さな物への使用は危険ですとしないでください。また、加工する物はクランプ・万力等でしっかりと固定してください。
 - 不安定なまま作業するとけがの原因となります。
5. 使用前に必ず人のいない方向へ向け、無負荷で1分以上試運転を行ってください。
6. サンディングペーパーに異常がある場合は使用しないでください。
7. 石綿が含まれている材料への研磨作業は行わないでください。健康に悪影響があります。
8. 使用中は作動部に手や顔等を近づけないでください。
9. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。
 - 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

10. 使用中は、サンディングペーパー・回転部等に顔や手等を近づけないでください。
(けがの原因)
11. 長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ病の原因になります。目安として30分間の作業に10～20分間の休憩をとってください。
12. 先端パーツを交換するときは、必ずスイッチを切り本体からバッテリーパックを取り外してください。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂・変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂・変形があると、けがの原因になります。
14. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切り使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は、(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。



1. 建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. サンディングペーパーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. 指定のサンディングペーパーを使用してください。
4. スwitchの操作は、作動部が身体に触れた状態や加工物・作業台の上に置いた状態でしないでください。(けが・加工物破損の原因)
5. サンディングペーパーの全面が加工物へ均等に当たるように作業してください。
 - サンディングペーパーの一部や縁だけで作業を行うと、加工物・サンディングペーパーの破損や本体の故障の原因となります。
6. 本体を傾けて使用しないでください。(故障・破損の原因)
7. 本体内部に研磨粉やごみなどが入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてごみを取り除いてください。
8. サンディングペーパーを加工面に必要以上に強く押し付けしないでください。(本体・サンディングペーパーの寿命低下の原因)
9. 作業直後の加工物やサンディングペーパーは大変熱くなっています。
 - 冷えるまで直接手肌に触れないでください。サンディングペーパーの交換は十分に冷めてから行ってください。(やけどの原因)

本製品について

用 途

◆木材の表面仕上げ、木材・金属のコーナーや狭い場所のサンディングに

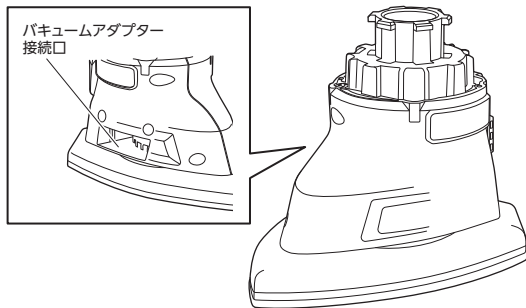
各部の名称・セット内容

要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

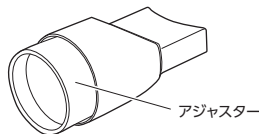
- 付属品が全て揃っているか
 - 破損した箇所はないか
- 万一不具合な点がありましたらお買上げの販売店又は(株)高儀までご連絡ください。

本 体

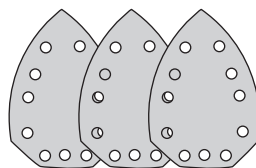


サンダーユニット本体×1

付属品



バキュームアダプター×1



サンディングペーパー
#60・#80・#120×各1

仕 様

本体(SL-18MCSD-A)

無負荷回転数	約10,000min ⁻¹	ベースパッドサイズ	約140×100(mm)
ストローク数	約20,000min ⁻¹	サ イ ズ	約長さ138×幅98×高さ100(mm)
オービットダイヤ	約1.4mm	質 量	約0.38kg

能力(最大)

別売バッテリーパック(SL-182BP-A)をフル充電した
1回あたりの作業量目安(周囲温度20℃)

フル充電での作業時間 約20分 ※1

※1 数値は目安ですのでバッテリーパックの充電状態や加工物の種類、サンディングペーパーの摩耗などの作業条件により異なります。

※ バッテリーパック2.0Ah取付け時の数値です。バッテリーパック4.0Ah取付け時の能力は約2倍に、5.0Ah取付け時の能力は約2.5倍になります。

使用前の準備

ヘッドユニットの交換方法



警告

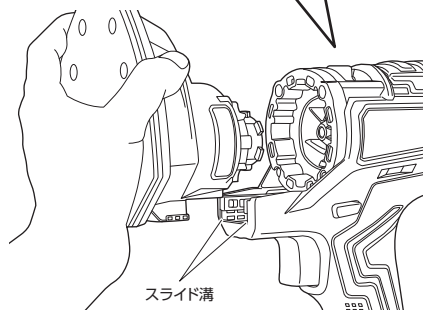
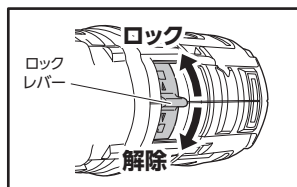
- ヘッドユニットの交換は必ず本体からバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- 先端工具が装着された状態でのヘッドユニットの交換は行わないでください。(けがの原因)

取付け

1. 本体とヘッドユニットのスライド溝をきちんと合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
2. ロックレバーを「ロック」の方向にスライドしてください。

※本体にヘッドユニットを差し込んだだけではロックは不十分です。

必ずロックレバーを奥までしっかりとスライドしてください。

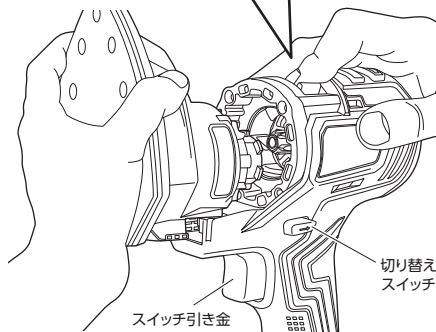
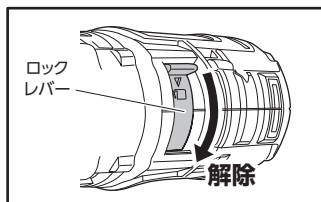


取り外し

- ロックレバーを「解除」の方向に押し込みながらヘッドユニットを取り外してください。

※ヘッドユニットを取り外すときは本体を下に向けしないでください。

ヘッドユニットが落下して破損するおそれがあります。



使用前の準備(続き)

各部の取付け・取り外し



- 必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを取り外した状態で行ってください。バッテリーパックを本体に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

サンディングペーパーの取付け・取り外し方法

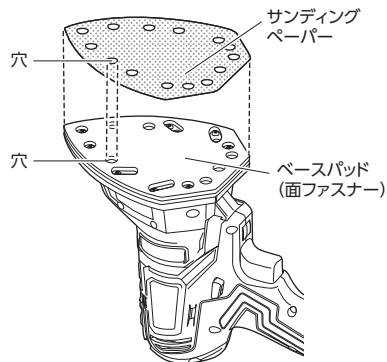


- サンディングペーパーは、必ず指定の物を使用してください。
- サンディングペーパーに異常がある場合は使用しないでください



- サンディングペーパーは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実でない、外れたり、けがの原因になります。
- 作業直後のサンディングペーパーは大変熱くなっています。冷めるまで直接手肌に触れないでください。サンディングペーパーの交換は十分冷めてから行ってください。(やけどの原因)
- サンディングペーパーは消耗品です。摩耗したら早めに新しい物に交換してください。

1. ベースパッドに付着したごみなどを取り除きます。
2. サンディングペーパーの穴と、ベースパッドの穴の位置を合わせるようにして、ベースパッドにサンディングペーパーをしっかりと貼り合わせます。
3. 取り外すときは、サンディングペーパーの端を持って引き剥がしてください。



作業の目安

加工内容	サンディングペーパー		
	粗仕上げ	中仕上げ	仕上げ
合板	#120	—	—
軟らかい木材	#60	#80	#120
硬い木材	#60	#80	#120

※表は目安です。使用状況・条件によって異なります。

バキュームアダプターの取付け・取り外し方法

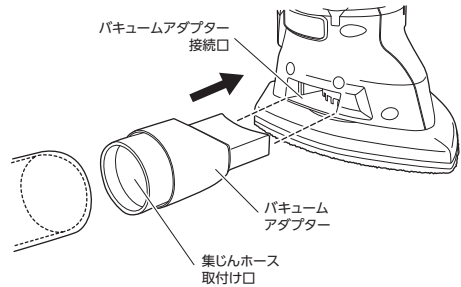


- バキュームアダプターの使用に関わらず、保護めがね・保護マスクを着用してください。

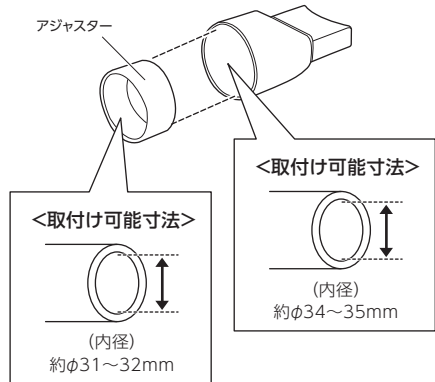
- バキュームアダプター接続口に集じん機のホースを取り付けることで、作業時に発生する切りくず・粉じんの飛散を軽減することができます。

集じんホース取付け口に付属のバキュームアダプターを抜けないようしっかりと差し込んでください。

- ※切りくずすべてが吸い取れるものではありません。
- ※ホースの形状や使い方により集じんホースが抜けやすくなる場合は、市販のテープなどを巻き付けて固定してください。
- ※集じん機の吸い込み口の形状・内寸によっては取り付けられない場合があります。



- ※バキュームアダプターからアジャスターを取り外すことで、2種類のホースに取り付けることができます。お使いになる集じん機のホースの内径をご確認のうえ、使い分けてください。



使い方

操作方法



警告

- 本製品を使用するときは細心の注意を払い、作業する環境を整え(作業の邪魔になる物は移動又は取り除いてください。)、作業者は体調を考慮し、(作業に疲れたときは休憩をし、体調の優れないときは、作業を控えてください。)本体・付属品等の点検を十分にし、(本体の調子が悪いときや異常がある場合は、使用しないでください。)作業に適した服装で行ってください。
- スイッチ引き金に指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ベースパッドやサンディングペーパーの取付け・取り外しのときは、必ずバッテリーパックを本体から取り外してください。本体が作動して、けがのおそれがあります。



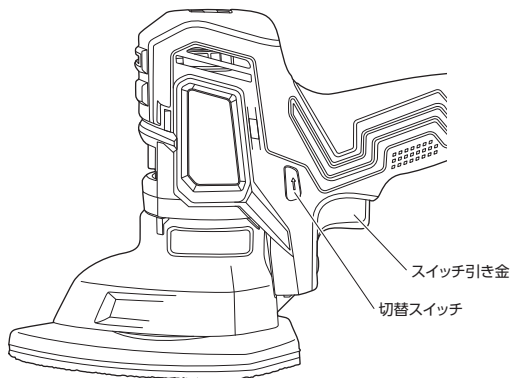
- 指定以外の用途に使用しないでください。けが・故障の原因となります。
- 使用中、バッテリーパックの残量が少なくなるとベースパッドの動きが遅くなり、能力が落ちます。

■スイッチ引き金操作

- 切替スイッチを押し込み、スイッチ引き金を引くと作動します。

※切替スイッチを中央位置にすると安全ストップパーが働き、スイッチ引き金を固定することができます。

- スイッチ引き金を離すと停止します。



作業方法



警告

- 保護めがね・保護マスクを着用してください。
- 水・研磨液等を使った作業など、本体に液体が浸入するような作業はしないでください。(感電・故障の原因)
- 傾斜のない平坦な場所で作業してください。不安定な場所で作業するとけが・事故の原因になります。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。また、手などで通気孔をふさがないように注意してください。(故障の原因)
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(けがの原因)
- あまりにも小さな物の加工は危険ですのしないでください。また、加工する物はクランプ・バイス等でしっかり固定してください。
- 石綿が含まれている材料への研磨作業は行わないでください。健康に悪影響があります。
- 本製品は作業音が大きいので、必要に応じて耳栓・耳覆い(イヤマフ)等の防音保護具を着用してください。



注意

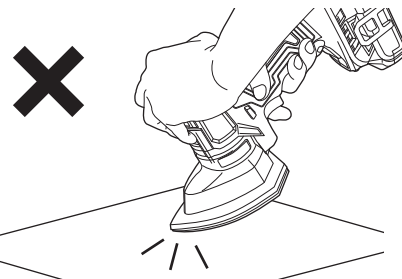
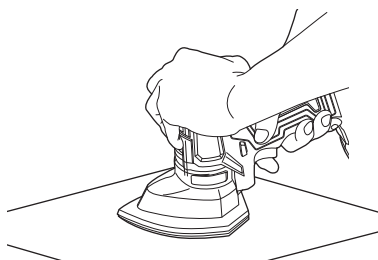
- 指定のサンディングペーパーを使用してください。
- 作業直後の加工物やサンディングペーパーは大変熱くなっています。やけどに注意してください。
- サンディングペーパーを加工面に必要以上に強く押し付けしないでください。(本体・サンディングペーパーの寿命低下の原因)



注

- 作業する前に、不要な材料などで試し作業することをお勧めします。
- 金属の研磨に使用したサンディングペーパーは他の材質の研磨に使用しないでください。

1. 作動部を身体や加工物・作業台から離し、本体のスイッチを入れてください。
2. サンディングペーパーが、加工面に均一に当たるように、軽く押さえる程度で作業してください。



※本体を斜めに傾けて、サンディングペーパーの一部だけを当てて使用しないでください。(故障・破損の原因)

お手入れ

お手入れと保管

ベースパッドの交換



- 作業直後のベースパッドは大変熱くなっています。ベースパッドの交換は十分に冷めてから行ってください。(やけどの原因)

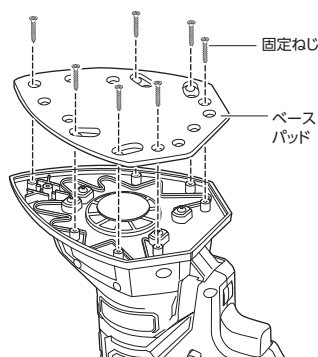


- ベースパッドの交換には⓪ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

ベースパッドは消耗品です。ベースパッドの摩耗により、サンディングペーパーが付きにくくなった場合はベースパッドを交換してください。

ベースパッドのお買い求めは、本製品をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

1. 本体のベースパッドを上に向けて手で押さえ、固定ねじ7本を⓪ドライバーで外してベースパッドを取り外してください。
2. 取り外したときと逆の逆順で新しいベースパッドを固定ねじで取り付けてください。



ヘッドユニットについて

■各種ねじの点検

- 各種ねじに緩みがないか定期的に点検してください。もし、緩んでいるねじがありましたら、しっかりと締め直してください。

■清掃

- 作業後は、ブラシなどで本体通気孔などに付いた汚れを落としてください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。また、水をかけての丸洗いはしないでください。(破損・故障の原因)
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

■保管

- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 本体を温度が50℃以上になる可能性がある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

サンディングペーパーについて

- 摩耗したサンディングペーパーを使用すると能率が悪くなります。早めに交換してください。

お買上げの後に

別売品のご紹介

- 本製品をお買上げの販売店又は(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「製品サポート」よりお問合わせください。ご注文のときは、下記の「品名・型式・JANコード」をお伝えください。

品名	マルチツール専用サンダーユニット用 サンディングペーパー5枚入 #60
型式	SL-CSDP-1
JANコード	4907052 554689

品名	マルチツール専用サンダーユニット用 サンディングペーパー5枚入 #80
型式	SL-CSDP-2
JANコード	4907052 554696

品名	マルチツール専用サンダーユニット用 サンディングペーパー5枚入 #120
型式	SL-CSDP-3
JANコード	4907052 554733

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシート等)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	EARTH MAN 18V充電式マルチツール専用 サンダーユニット		お買上げ日	年 月 日
型式	SL-18MCS-D-A	JAN コード	4907052 341272	保証期間 お買上げ日より6か月
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。			

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきまして、その他の保証はいたしかねます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。*
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
*製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

保証規定

発売元  株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

*修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00(土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。